

の贈酬不適合額額も才交遊一世を賦式隨當管田八次順會
支辨を以てしざるも其の要餘金費會を備置し備置委員
會攝歸の成つた歸業と同様の調和並轉手を輸入し營業の
要求書提出

一、各編の組織

歸業員なる吉原市益慈照太順式司婚や次の通りである。
「朝日平登六朝」の一齊歸業列入るも其の組織日本積を
別々の實質を以てしその一、歸業員一同が其の組織を担
當員に任じて交番し或るは、會攝歸つた重たの疎離し懸
の組織の上層層階級の最上を要求するものなり、朝日會攝
書の證明書」なるものあり、亦の答を一同の報告し且
るものあり、十月十三日決定は各の懸轉手の任じ得書隊
用し來りたるものなり、今同限縁の成る組織なる警隊書の通

法人協同會福岡出張所

法人協同會福岡出張所

社重役)に一任することを決定したので、従業員側に於て
は代表者五名を選び翌十四日會社側に對して次の要求書を
提出したのである。

○要求事項

- 一、運轉手及車掌の契約書の條項變更に既に提出者の分は
條項變更の分と取替へること
- 二、從來自辨したる制服制帽の代金は今後會社負擔のこと
- 三、食事費一食運轉手拾七錢車掌拾九錢を事務所員同様一
食拾錢とすること尙多忙の場合と雖も食事時間拾分間
位與ふること
- 四、事務員は乗務員に對し暴言を以て威嚇せざること
- 五、災害扶助法即時適用のこと
- 六、怠業期間中は従業と見做し後日絕對犠牲者を出さざる